

かしこい消費者

携帯電話は09年6月末には加入契約数が1億800万を超え、国民一人に1台は「ケータイ」を持つている状況にあります。

最近のケータイはますます多機能になり、便利になっていますが、使い方によっては思わぬトラブルにつながってしまうこともありま。トラブルを避けるためには、自分が使おうとするケータイの機能を携帯電話の契約時に十分に確認し、理解したうえで、契約することが必要です。

●高額なパケット通信料

①写真のメール送信

最近では、デジタルカメラとほぼ同等の性能を持つカメラ付き携帯電話が販売されています。このカメラで撮った画像は高精細であるためデータ容量が大きく、この画像を他の人にメールで送る場合、送信する側だけでなく受信する側にも高額なパケット通信料が発生することがあります。そのため、メールで送る場合には、相手側の了解を得るなどの配慮も必要です。

②楽曲のダウンロードやサイトの閲覧

最近の携帯電話は、携帯音楽プレーヤー並みに音質の良い曲のダウンロードができたり、パソコン向けサイトが見られるようになってきています。楽曲などのダウンロードやサイトの閲覧は、パケット定額制の料金プランで契約

携帯電話の利用料金を高額にしないために！

しない場合、高額なパケット通信料が発生することがあります。

また、一部の携帯ゲームサイトで無料ゲームが提供されていますが、コンテンツの料金は無料でもパケット通信料は発生します。高額パケット請求のトラブルに合わないよう、使用頻度により、パケット通信料定額プランの利用なども検討してください。

●海外での利用

多くの携帯電話では、海外旅行先でも日本と同じようにサービスが利用できます。海外で携帯電話のレンタルをしなくても利用できて便利ですが、通話料やパケット通信料は日本での料金は適用されず、海外の通信事業者の料金が適用されて、高額になる場合もあります。

また、携帯電話が盗まれて使われると、高額な料金を請求されることがあります。万一、紛失や盗難などの場合には、契約している携帯電話会社への連絡と現地警察への届け出を行い、被害を防ぎましょう。

(国民生活センター発行)

「くらしの豆知識」より



熊本県消費生活センター ☎383-0999 役場住民生活課住民係 ☎286-3111 内線111-112
消費者地域相談員 遠山美智子 ☎286-4125 大塚慶子 ☎286-4792 吉村静代 ☎286-5914 富田セツコ ☎286-6525

あなまの 地名漫歩

歴史の変遷と地名

319

矢嶋姉妹の周辺④

この有名な矢嶋四姉妹が育った矢嶋家が初めて世に出たのは、姉妹の祖父矢嶋弥平次吉保の時、弥平次は宝暦10年(1760年)杉堂に生まれ、妻は隣村、小谷の郷士・富永弥次右衛門の妹で、姉妹の父直方はその長男でした。

そのころ杉堂と小谷の間には河原川が深い谷を作り流れ、地名を荒瀬と言います。杉堂の人は、粗末な土橋か、それが流れたら川底に積み重ねた蛇籠に丸太を敷き並べた洗子橋というのを渡るなど、危険で不自由な生活を強いられていました。

寛政7年(1795年)、地士となり村の指導者となった弥平次は、荒瀬の橋が気掛かりでしたが、文化元年(1804年)、夫妻でお伊勢参りの帰途、岩国の錦帯橋を見物し、これを荒瀬の橋の参考に、これを荒瀬の橋の参考にと滞在して研究し、帰国後私費を投じて翌文化2年(1805年)、片眼鏡橋を完成しました。

住民の喜びは大きく、世間では大評判となり、藩はその功を賞して一領一正に取り立てました。

この話を聞いて、当時塘方役人であった三村和兵衛が、職務上と興味を兼ねて橋を訪れ、弥平次から苦心談を聞くうちに、肝胆相照らす仲となります。そして、弥平次の長男直明と和兵衛の長女鶴子は結婚します。この2人が姉妹の両親です。

住民の生活に多大の恩恵を与えたこの片眼鏡橋も、明治33年の未曾有の大水害で惜しくも流失し、唯一の残った礎石は、上陳に運ばれ津森村の郵便局長や村長を歴任された矢野幸司氏(大正3年済々黷卒、書家で雅号は宙外。町内に扁額や碑が残る)の自宅の庭に手水鉢として据えられていました。これは、筆者が直接矢野宅で見聞したものです。

益城町文化財を訪ねる会

会長 松野國策



現在の荒瀬橋